

変革期にある歯科界をどう乗り切るか？



公益社団法人日本歯科医師会 会長 高橋 英登

【抄録】

歯科医療を取り巻く環境は、人口動態の変化から国際情勢に至るまで、多層的な要因が複雑に絡み合いながら急速に変化している。人生100年時代の到来により、国民が生涯を通じて口腔の健康を維持することの重要性は一層高まり、歯科医療の役割は従来の治療中心から予防・健康支援へと大きく転換しつつある。一方で、歯科医師の地域偏在や歯科医師国家試験のあり方など、供給体制に関わる課題も顕在化しており、持続可能な歯科医療提供体制の構築が急務となっている。

さらに、物価高やエネルギー価格の変動に加え、中東情勢の不安定化に伴う国際的なサプライチェーンの混乱は、歯科材料・器械や医療機器の価格および供給にも影響を及ぼし、診療現場の経営環境を一段と厳しいものにしていく。こうした外部環境の変化に対し、歯科界には従来の延長線上ではない新たな対応力が求められている。

本講演では、まず歯科医療の社会的価値を再整理し、国民皆歯科健診の議論に象徴されるように、歯科が全身の健康および社会保障の持続性にどのように貢献できるかを展望する。続いて、歯科医師偏在問題や国家試験制度の課題を踏まえ、将来の人材確保と質の向上を両立させるための方向性を提示する。さらに、医療DXやデジタルデンティストリーの進展、地域包括ケアの深化、訪問歯科の需要拡大など、現場で進む変革を示し、それらを歯科医療の質向上と医院経営の安定にどう結び付けるかを論じる。

変革期は危機であると同時に、未来を創造する好機でもある。公益社団法人日本歯科医師会として、政策提言、人材育成、情報発信を通じて歯科界の進むべき道を示し、国民の健康寿命延伸に寄与するための実践的な視点を本講演で共有したい。

【現職】

公益社団法人日本歯科医師会 会長
公益財団法人8020推進財団 理事長
日本歯科大学生命歯学部 客員教授
鶴見大学歯学部 臨床教授
松本歯科大学 客員教授
医療法人社団慧医会 理事長

【略歴】

1977年 日本歯科大学歯学部 卒業
日本歯科大学歯学部歯科補綴学教室第Ⅱ講座入局
1979年 東京都杉並区に井荻歯科医院開設
1985年 金属と陶材の溶着に関する研究で歯学博士 授与
1987年 日本歯科大学歯学部歯科補綴学教室第2講座 講師
1988年 東京都国民健康保険診療報酬審査委員 (2000年まで)
日本接着歯学会 編集委員 (2000年まで)
1993年 日本補綴歯科学会指導医 認定
1995年 日本歯科医師会生涯研修講師 (1995-1996年)
2001年 日本歯科医師会診療情報提供に関する検討委員会 委員 (2002年まで)
日本接着歯学会 理事 (平成21年まで)
2003年 東京都杉並区歯科医師会 理事 (学術担当) (2005年3月まで)
東京都歯科医師会 保険指導員 (2007年3月まで)
2006年 日本歯科医師会 社会保険委員会委員 (2013年6月まで)
2007年 東京都杉並区歯科医師会 会長 (2013年6月まで)
日本歯科医師連盟 常任理事 (2013年6月まで)
日本歯科医師会国民歯科医療のあるべき姿委員会委員 (2010年まで)
2010年 日本接着歯学会 副会長 (2014年3月まで)

- 2011年 杉並区歯科保健医療センター センター長 (2013年6月まで)
日本歯科大学校友会 常務理事 (2014年12月まで)
日本歯科大学生命歯学部 客員教授 (現在に至る)
- 2013年 東京都歯科医師連盟 会長 (2017年6月まで)
日本歯科医師連盟 副会長 (2015年6月まで)
- 2015年 日本歯科医師連盟 会長 (2023年6月まで)
- 2019年 医療法人社団慧医会 理事長 就任
- 2022年 鶴見大学歯学部 臨床教授 (現在に至る)
- 2023年 松本歯科大学 客員教授 (現在に至る)
公益社団法人日本歯科医師会 会長 (現在に至る)
公益財団法人8020推進財団 理事長 (現在に至る)



日本歯科医師会PRキャラクターよ坊さん